

## VLBI 懇談会 2023 年度 総会資料

### 議題

#### 1. 2023 年度会計報告 及び 会計監査報告 (資料 1)

2022 年度 VLBI 懇談会シンポジウム (東北大学) は対面とリモートのハイブリッド形式で開催された。2 回の役員会 (4 月, 12 月) はいずれもリモート開催だったために役員旅費は発生せず執行額はゼロとなった。2023 年度シンポジウム (新潟大学) では会場費とアルバイト費が発生している。

資料 1 の通り、2023 年度の会計監査の結果を報告する。

#### 2. 役員選挙の結果 (資料 2)

次の期 (2024-2025 年度: 2024 年 1 月-2025 年 12 月) における会長および事務局などを含む役員選挙が行われた。投票期間は 2023 年 12 月 8-17 日、ウェブ投票にて実施された。開票作業は中川亜紀治(鹿児島大学)、坂本直也(鹿児島大学修士 2 年, 非会員) の 2 名で担当した。投票数は 76。開票の結果を報告すると共に下記の次期役員を提案する。

会長： 小林秀行

事務局長および事務局： 佐野栄俊 (事務局：岐阜大学)

全国幹事： 今井裕, 岳藤一宏, 赤堀卓也, 小山翔子, 藤澤健太

(定数 4 名だが同票数のため慣例により 5 名を提案する。)

機関幹事： 関戸衛 (情報通信研究機構)

青山雄一 (国立極地研究所)

米倉覚則 (茨城大学)

中川亜紀治 (鹿児島大学)

佐野栄俊 (岐阜大学)

三澤浩昭 (東北大学)

新沼浩太郎 (山口大学)

寺家孝明 (国立天文台)

本田昌樹 (国土地理院)

土居明広 (JAXA/宇宙科学研究本部)

小川英夫 (大阪公立大学)

大木愛花 (学生幹事)

### 3. 2024年度の活動方針

- ・VLBI懇談会シンポジウムの開催（2024年は岐阜大学に内定している）  
役員会にてSOCチェアを調整後、SOC,LOC中心に進める。天文台研究集会助成の申請。
- ・役員会、総会の開催
- ・必要に応じてWGの活動（教科書WG、VLBI歴史WG）
- ・通常業務（会費徴収、名簿管理、会計管理）
- ・メーリングリスト及びV懇ホームページ(<https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/vcon/>)の管理については引き続きNICTで運用する。
- ・入退会時の連絡先は事務局長（vcon.jimu@gmail.com）とする。
- ・2024年は早い時期に国立天文台の各種委員の推薦依頼が届く見込み。VLBI懇談会からの推薦を調整する。

### 4. 2024年度予算案

会計期間：2023年12月6日～2024年12月31日

- ・本シンポジウム（新潟大学）の経費としてすでに会場費とアルバイト費が発生しているため、予算（支出の部）「2023年度V懇シンポ経費」に概算額50,000円を計上した。
- ・役員会ではリモート会議が定着したため、例年100,000円を計上していた「役員会旅費」を見直し、「役員会旅費・関連費」として10,000円を計上した。

#### 収入の部

収入合計	¥824,729	備考
前年度繰り越し	¥605,729	
会費収入	¥219,000	正 109x 2,000円（在外15名除く） 学 1人x 1,000円

#### 支出の部

支出合計	¥824,729	備考（実績など）
2023年度V懇シンポ集録作成・発送費	¥100,000	8.0万円（2022）、5.9万円（2021） 9.1万円（2020）
2023年度V懇シンポ経費	¥50,000	表彰の副賞代、アルバイト代など、2023年度新潟シンポ終了後に発生する経費
2024年度V懇シンポ経費	¥20,000	表彰の副賞代、アルバイト代など
役員会旅費・関連経費	¥10,000	役員会はZoom開催が定着、減額。
繰り越し予定	¥644,729	

## 5. 2023 年度の活動報告

### 5-1 2023 年度 第 1 回役員会

・実施日：2023 年 4 月 25 日（火）17：00-18：10

・議事内容：

#### (1) 審議：学生幹事の交代

2021-2022 学生幹事 高村美恵子さん、 2023-2024 学生幹事 大木愛花さん

#### (2) 審議：2023 年 VLBI 懇談会シンポジウム開催について議論

- ・開催場所の決定 新潟大学、SOC チェア秦和弘さん、LOC チェア小山翔子さん
- ・天文台研究集会助成への申請について

### 5-2 2023 年度 第 2 回役員会

・実施日：2023 年 12 月 6 日（木）16：00-：

・議事内容：

(1) 次期(2024-2025 年)役員改選結果を報告。自由投票で選出する全国幹事の定員は 4 名だが、同じ票数の候補者があったため定員に収まらなかった。慣例にならい 5 名の就任を提案し、議論の後に了承された。その他の役員は自由投票および信任投票の結果を受けて了承された。

#### (2) 2023 年度総会の準備

(3) 審議：全国幹事の候補者要件の緩和について議論した。

- ・現全国幹事の自由投票においては、被投票者から在外会員を除くことが慣例となっており、規約には無い制限である。この制限の緩和を事務局から提案した。
- ・役員会では概ね条件緩和には肯定的な意見が多かった。しかし、議論を進めるうちに、本提案は在外研究者の選挙時の扱いだけにとどまらず、役員会のあり方や選挙制度全般、会費徴収あり方にも関連するとの意見が多く出た。従い、役員会で決定は見送った。
- ・機関幹事や全国幹事のあり方についても議論が発展した。
- ・役員会が VLBI 運用の議論や調整の役割を担っていた経緯もあり、機関幹事はアンテナ等の観測装置を有する機関から出していた。国内外の多くの機関に会員が存在する現在、機関幹事のあり方も議論の対象となり得る。
- ・国内 VLBI 網の人的ネットワーク作りを V 懇の目標としていた中で、各機関から入ってもらうために機関幹事を位置づけた経緯もある。
- ・全国幹事については、望遠鏡を持たない機関からも科学的、技術的、教育的な面で役員会に参加してもらった方が良いとの観点で設定した経緯がある。
- ・現在慣例となっている全国幹事の選挙において「在外を除く」制限の緩和については、例えば 1 年後の総会における規約改正、2 年後の役員改選時の適用を目指すなど、長いスパンで議論する事がふさわしいと考える。
- ・総会の場で役員会の議論を紹介し、VLBI 懇談会のあり方を考える契機とする。

#### (4) 審議：次期予算での役員旅費削減

役員会の Zoom 開催が定着したため多額の旅費計上は不要。次年度予算の提案では項目名を「役員会旅費・関連経費」と改め、10,000 円を計上する事とした。

(5)審議：次期予算での V 懇シンポ開催費の増額

- ・シンポジウムの会場費やアルバイト費が必要となった事例を踏まえシンポジウム開催関連予算の増額を事務局より提案した。
- ・会費の主要な用途はいまのところ V 懇シンポ集録の作成費だけである。会場費発生の有無は開催地に依存する状況である。
- ・議論は会費のあり方にも発展した。シンポジウム経費は参加費として徴収して独立採算とする考えもある。予算増額は役員会で議決せず。議論を総会で報告する。

(6)次期(2024-2025 年度)会計監査委員は中川亜紀治(鹿児島大学)となった。

5-3 ワーキンググループ (WG) 活動 3 件

(WG-1) VLBI 歴史 WG 小林秀行さん

歴史 WG は、主査が当初は川口則幸さんであったが体調などの関係で小林に変更になった。その後、2 回会合を持ち、載せるべき内容の議論、執筆担当者の確認を行い、執筆担当者の方々に連絡をとった。それを踏まえて、各自でドラフトを作成している。

全体の進捗は、まだ 10%程度で進んでいないが、各自にお願いをしてドラフト作成を進めたい。その後、全体のバランスを考えて、編集し、完成を目指したい。

(WG-2) VLBI 教科書 WG 藤沢健太さん

VLBI の観測システムと科学研究を紹介する書籍『VLBI 入門 (仮)』を制作することを目的として、2021 年に本 WG が設置された。2021 年に集中的に議論を行い、書籍の章立て・執筆者の案を作った。ただ、2021 年 11 月以降、活動および進捗はない。進捗が止まっているのには下記の 2 つの理由がある。

- (1) 制作に取り掛かる前に、素案をより具体的かつ現実的なものとする必要性が認められたが、どのように修正をするか検討をするのに時間がかかっている。
- (2) この WG の取りまとめを担当している藤沢が、個人的に多忙となった。藤沢は 2024 年度には業務の負担が一部軽減される見込みなので、2024 年に改めて WG の活動を再開する予定である。

(WG-3) ソフトウェア共有 WG 今井裕さん

「VCON ソフトウェア・リポジトリ運用 wiki の終了について」

この wiki の元になっているソフト Mac Sever は 2008 年から運用しており、現在それを運用している鹿児島大学のサーバー(Mac Mini)は、2 代目の運用機となります。この Mac Mini は 10 年以上、耐用年数を遥かに超えて運用して参りました。最近、大学のセキュリティー管理の部署からセキュリティーホールになっている可能性を指摘され、その一方でクラウド環境が整備されてきたことを鑑みて、この wiki の運用を半年以内に終了する方針を固めました。

それに伴い、wiki 上で運用されてきた VCON ソフトウェア・リポジトリの運用も終了する予定です。運用開始時はリポジトリ開設者を中心に積極的に使われてきましたが、ここ数年は利用・更新実績が確認できておりません。また、Apple による Mac Sever の提供が

終了され、新たな wiki 環境 (XWiki 等) をインストールしても Mac Sever 上の wiki のコンテンツを移行できないことが確認されています。旧来の wiki に残された情報のうち今後も必要となるものについてはアーカイブ化を進めるつもりですが、大部分の情報はこの機会に廃棄される見通しです。

## 6. 通常業務

- ・メーリングリスト管理・ウェブサイト管理(NICT に委託)
- ・2022 年度 VLBI 懇談会シンポジウム@東北大学の集録印刷・配布
- ・会員名簿管理、会費徴収
- ・2023 年度の入退会 (2022 年 12 月 7 日～2023 年 12 月 6 日の期間)
  - 入会： 8 名 (うち会費無し学生：1 名)
  - 退会： 7 名 (うち会費無し学生：6 名)
  - 現在の会員：135 名 (正会員 124 名 (うち在外 15 名)、学生会員 11 名)

以降、添付資料

# 資料1

## 2023 年度会計報告

会計期間 2022 年 12 月 7 日～2023 年 12 月 6 日

### 収入の部

	2023 年度予算	2023 年度実績	2022 年度実績	備考
収入合計	802,552	762,557	668,040	
前年度繰越金	593,552	593,552	533,036	
会費収入	209,000	169,000	135,000	
利息	0	5	4	
その他	0	0	0	

### 支出の部

	2023 年度予算	2023 年度実績	2022 年度実績	備考
支出合計	802,552	762,557	668,040	
前年度シンポジウム集録発行・発送	100,000	80,300	59,048	*1
シンポジウム経費(前年度)	20,000	11,188	15,000	*2
シンポジウム経費(本年度)	20,000	64,350	0	*3
役員会旅費補助	100,000	0	0	
雑費	0	990	440	*4
次年度繰越金	562,552	605,729	593,552	

\*1：2022 年度 V 懇シンポ(東北大学)集録代金

\*2：2022 年度 V 懇シンポ(東北大学)表彰の副賞代、賞状代

\*3：2023 年度 V 懇シンポ(新潟大学)会場費

\*4：振込手数料 3 回分(440 円×2+110 円)

### 会計監査報告

VLBI 懇談会会計簿および支出に伴う領収書、帳簿、現金等の資産を監査した結果、問題のないことを認めます。

2023 年 12 月 7 日

VLBI 懇談会 会計監査委員

小川 英夫

# 資料2

2024-2025年度 VLBI懇談会 役員選挙の結果

選挙の実施期間：2023年11月8日(水)～17日(金)、ウェブ選挙にて実施、投票数 76

## 会長

形式：自由投票

氏名	得票数	
小林秀行	31	○
藤澤健太	26	
3番目の方	3	
以下省略		

## 全国幹事

形式：自由投票

氏名	得票数	提案 5名
今井裕	28	○
岳藤一宏	26	○
赤堀卓也		○
小山翔子	18	○
藤澤健太		○
秦和弘	17	
元木業人	14	
本間希樹	11	
以下省略		

## 事務局長(事務局)

形式：信任投票

氏名	信任	不信任
佐野栄俊(岐阜大学)	76	0

## 機関幹事および学生幹事

形式：信任投票

氏名	信任	不信任
関戸衛(情報通信研究機構)	76	0
青山雄一(国立極地研究所)	76	0
米倉覚則(茨城大学)	76	0
中川重紀治(鹿児島大学)	76	0
佐野栄俊(岐阜大学)	76	0
三澤浩昭(東北大学)	76	0
新沼浩太郎(山口大学)	76	0
寺家孝明(国立天文台)	75	1
本田昌樹(国土地理院)	76	0
土居明広(JAXA/宇宙科学研究本部)	76	0
小川英夫(大阪公立大学)	75	1
大木愛花(学生幹事)	76	0